



兼続
お船

ミュージアム

長岡市与板歴史民俗資料館

天下に名高い智将 直江兼続

直江兼続は、永禄3年(1560)、越後国上田荘に生まれたといわれています。父は坂戸城(南魚沼市六日町)主・長尾政景に仕えた樋口兼豊です。

天正9年(1581)、与板城主・直江信綱が殺害されると、主君・上杉景勝の配慮により、兼続は信綱の妻お船と結婚し、直江の名跡を継ぎました。

天正16年(1588)、兼続は豊臣秀吉から「豊臣」の姓を与えられ、桐紋の使用も許されました。秀吉は兼続を「天下の治世を任じ得る人物」と絶賛し、高く評価していたといえます。

慶長3年(1598)、景勝が会津120万石に移封されると、兼続は米沢城代を任されました。関ヶ原の合戦後、上杉家が米沢30万石に減封されてからも、兼続は米沢の発展に力を注ぎました。

元和5年(1619)、兼続が江戸で60年の生涯を閉じると、多くの人々がその死を惜しんだと、上杉家の記録は伝えています。



中村麻美 画 直江兼続

賢夫人 お船

お船は、上杉謙信の重臣として活躍した与板城主・直江景綱の娘として生まれました。総社長尾氏から直江家に婿入りした信綱と結婚しますが、信綱死去後、兼続と結婚しました。兼続22歳、お船25歳といわれています。

お船は、上杉家の執政として多忙を極める夫兼続を生涯支え続けます。兼続死去後、上杉景勝の子定勝から3000石の領地を与えられ、米沢藩30万石の中でも特別な存在であったことがうかがえます。

寛永14年(1637)、お船は江戸で死去しました。81歳でした。葬儀は、藩葬と同等の扱いで行われました。墓は米沢市の林泉寺にあり、兼続の墓と並んで眠っています。



中村麻美 画 お船

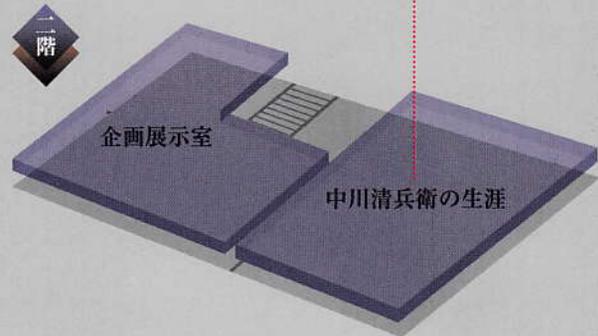
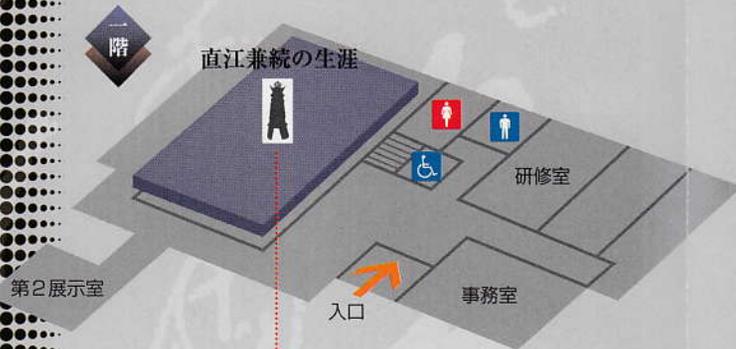
展示室のご案内

1階の「直江兼統の生涯」コーナーでは、資料や写真で兼統の生涯を絵巻物のように紹介します。

2階の「企画展示室」では、与板の先人・偉人等を紹介する特別展を開催します。また、ドイツで修行した日本初のビール醸造人「中川清兵衛の生涯」コーナーでは、彼の生い立ちから業績をパネルやDVDで知ることができます。

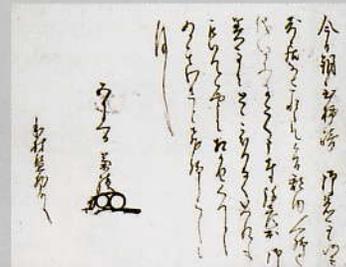


幕末に渡航し、ドイツでビール醸造技術を修めた初の日本人。帰国後、サッポロビール㈱の起源となる「北海道開拓使麦酒醸造所」でビール醸造の技術開発に携わり、国産ビールのパイオニアとなりました。



愛の甲冑(複製品)は360度、どの方向からもご覧いただけます。

直江兼統書状(天正11年) 5月1日
兼統から与板衆・本村監物に宛てた書状。新発田重家との抗争に関することが書かれています。



直江兼統書状(慶長5年)8月23日
上杉景勝の存亡をかけた伊達政宗との抗争に関して、兼統から与板衆・本村造酒、青柳隼人らに宛てた書状。白石城(宮城県白石市)奪還のための準備が命じられています。

施設のご案内



兼続お船ミュージアム

- 中之島・見附I.Cより10分
- 長岡I.Cより20分
- 長岡駅よりバス30分

開館時間

午前9:00 ▶ 午後5:00

休館日

月曜日・12月28日から翌年1月4日まで

入館料

区分	個人	団体(10名以上)
大人	300円	250円
中学生・小学生	150円	100円



兼続お船 ミュージアム

〒940-2402 新潟県長岡市与板町与板乙 4356
TEL・FAX 0258-72-2021

よいた地域イメージキャラクター
よいたん